

## 平成24年度宗像市中学生職場体験事業「ワクワク WORK」実施要領

「ワクワクWORK」実行委員会

### 1 事業目的

本事業は、「生きる力を身につけた子ども」を育成することを目指す「宗像市教育21世紀プラン」の主要な事業のひとつである。5日間の職場体験活動、事前学習、事後学習等を通じて、将来の夢や自分の適性について考察する契機とし、地域社会への理解を深め、望ましい勤労観・職業観を育み、学習意欲や社会性の向上を図る。

### 2 事業の対象生徒

市内中学校（7校）2年生生徒全員

### 3 体験学習期間

平成24年9月10日（月）～14日（金）の5日間に、全校一斉に実施する。

### 4 実施方法

#### （1）体験活動の内容

地域の各種産業・職場の実態に応じた職場体験活動を行う。

#### （2）教育課程上の取扱い

年間指導計画のもとに、総合的な学習の時間を中心に、特別活動や道徳の時間との関連を重視し、各中学校の実態により内容編成する。また、体験活動を通して、地域の産業・職場への理解を深めるとともに、体験をまとめたり、発表しあったりする活動を実施する。

#### （3）具体的な実施方法

- 原則としてグループ単位で体験活動を行う。
- 体験活動時間は9：00～16：00を原則とする。
- 期間中は自宅から直接事業所へ通う。
- 通勤手段としては徒歩、自転車及び公共交通機関の利用を原則とする。
- 期間中、事業所が休業日の生徒については、各学校で対応する。
- 昼食については、弁当持参を原則とする。
- 傷害保険・賠償責任保険の加入手続きを事務局にて行う。

#### (4) 受入事業所について

- 宗像市内の事業所であることを原則とする。
- 事業所の確保は事務局にて行う。
- 複数中学校の共通ゾーン（公共施設、大型店舗、病院等）を設ける。
- 事業所への協力依頼は、商工会、校長会等の組織と協議して事務局が行う。
- 事業所への生徒配置の調整は実行委員会で行う。

#### 5 推進体制

本事業は、学校の教育活動であると同時に、地域社会の教育活動でもあるので、学校・家庭・地域社会・教育委員会の連携が不可欠である。そこで、下記のような「ワクワクWORK」実行委員会を設け、各機関との連携を強化して事業の推進を図る。

##### ○実行委員会の構成

校長代表（1人）、教頭代表（1人）、各学校担当者（7人）、事業所代表（1人）、教育委員会（4人）

##### ○実行委員会の役割

事業全体の推進・実施、関係機関・事業所との連絡調整等

##### ○その他

- \*必要に応じて委員以外の参加を求めることがある。
- \*事務局：教育政策課 学務係（TEL36—5099）

# アンケート結果を振り返る

市教育委員会では、今年も12月1日から同16日までの5日間、市内全中学校の2年生911人による職場体験学習「JUNIOR WORK」を実施しました。市内の全中学校で取り組んで、今年で10年目を迎えた「JUNIOR WORK」。生徒や保護者、受入事業所にとってもこのような体験になったのでしょうか。アンケートの結果を振り返ります。

【質問1】 職場体験の直前、受入事業所は245カ所あり、今年、生徒を受け入れ

## 職業や自分の適性への動機付けと 事前学習

また、職場体験の直前には、事業所の人や生徒が仕事内容や服装などについて直接打ち合わせをしました。

### 受入事業所は 245カ所

今年、生徒を受け入れ



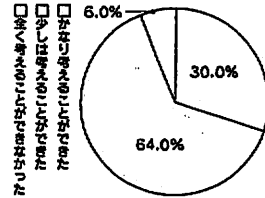
保育園で園児たちとふれあう生徒

## 職場体験後「振り返る事後学習」

職場体験活動全体を通じて気づいたことなどを振り返り、まとめたリ、発表し合ったりすることで、自分の生き方や将来の進路などを考えました。

## 生徒のアンケート結果

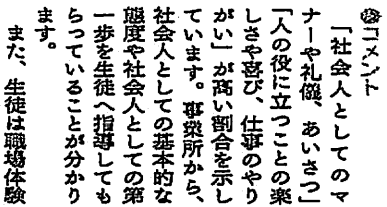
【質問1】 自分の興味や適性、将来の進路や職業について考えることができたか？



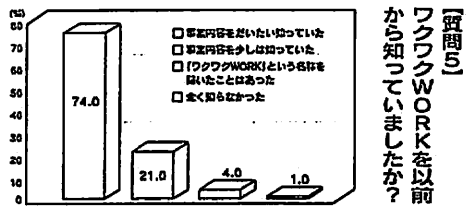
【質問2】 「よく話した」「少し話した」の合計の割合は93.7パーセントで、「ワクワクWORK」での出来事が家族とのコミュニケーションのきっかけにもなっています。子どもが将来の進路を考えた際、家庭の果たす役割は重要です。この事実を契機に、今後も親子で将来の夢や目標について語り合ってもらいと思っています。

【質問3】 職場体験で90パーセント以上の生徒が、自分の興味や適性、将来の進路や職業について考えることが分かります。教室を出て社会で実体験をすることが、生徒へ大きな影響を与えていることが分かります。

【質問4】 事業所で教わったことで特に重要なことは何ですか？ (複数回答)

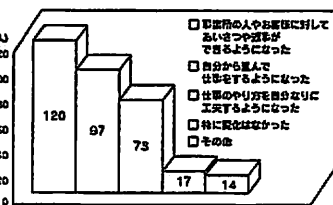


【質問5】 ワクワクWORKを以前から知っていましたか？

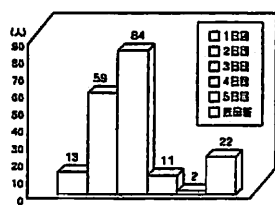


## 事業所のアンケート結果

【質問6】 生徒にどんな変化が見られましたか？



【質問7】 生徒に変化が見られたのは何日目からですか？



【質問8】 お金を稼ぐ大変さを学ぶことで、親の苦労や自分の適性なども考えることができたのではないのでしょうか？

【質問9】 仕事の厳しさを知ることとは将来の仕事選びのために良いことと思うが、生徒の意欲に欠ける部分が見えなかったか？

生徒たちにとって、「ワクワクWORK」で事業所のみならず、教室でもらったことは、教室で先生に教わることは違った印象を与えたことでしょうか。生徒たちは、各事業所で体験した5日間を振り返り、自分の適性を理解して将来の夢や進路、生き方への考えを深めていきます。

働くことや学ぶことの意義を考え、目的や進路の意識をしっかりと持って進学や就職をする若者を育てるには、学校や家庭だけでなく、地域のみならず、保護者の協力が必要です。事業所のみならず、未来を担う若者を育てる活動に今後も協力をお願いします。ありがとうございます。